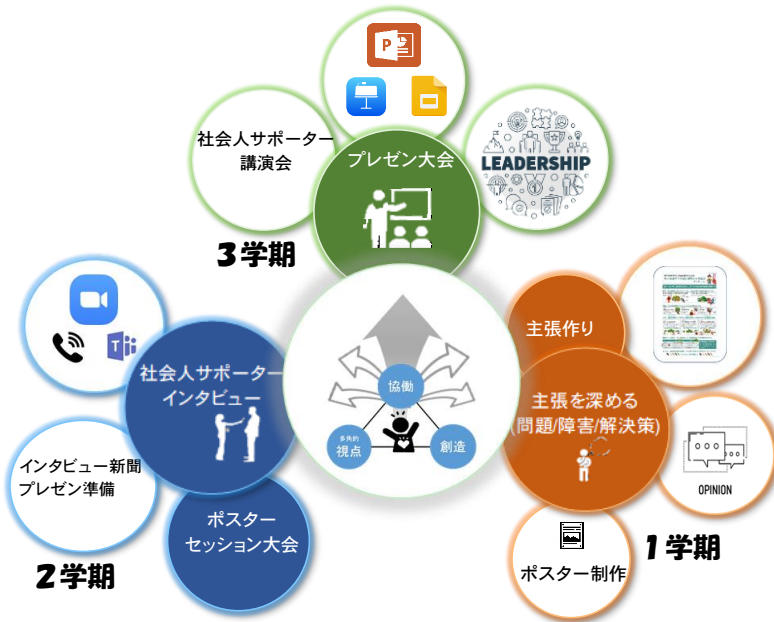




今後の活動について

目標:今後の活動を把握し、全員で最終章を成功させるために準備を進めることができる。

1 これまでの活動



なんと！！今回で総合が17回経ちます。第1回の総合的な探究の時間では、こんな話をしたのを覚えていますか？「面白い大人は、いろいろ知っているし、さまざまなこと経験しているし、自分にはない素晴らしいものを持っているんです。だから、今起きている出来事はすべて、私たちにとって必要な事なのです。」

そこで、総合の活動を通して

「多角的視点を持つこと」、
 「自ら考え自分にしかできない創造をすること」、
 「様々な人とつながり協働していくこと」
 ということを経験し、自ら行動する力、考え抜く力、チームで協力する力を伸ばしてほしいという話をしました。

いよいよクライマックスに向けて、準備を進めていきます。これまでの成果を出せるように、最善を尽くしましょう。

2 今後の活動 ～インタビュープレゼン・プレゼン大会～

これから、インタビュープレゼン、プレゼン大会予選を行ってまいります。プレゼンの大きな目標は、

目標

『聴衆を惹きつけ、聴衆を動かす』

～プレゼン力+主張の深さ～

i) インタビュープレゼン 11/26(木) in 教室

ここでは、

- ①社会人サポーター講演会の希望順位
 - ②インタビュープレゼン審査表
- の2つの審査をしていきます。



①社会人サポーター講演会の希望順位

インタビュープレゼンを聞き、社会人サポーター講演会でぜひ学校に招きたい！と思う人を選んでください。

社会人サポーター講演会希望表

※希望順位 1位：4点、 2位：3点、 3位：2点、 4位：1点を記入すること。

↓番号は発表順

1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番

この希望順位の高い人からアポイントをとっていきます。

②インタビュープレゼン審査表

1st JUDGE

CHECK 項目	得点
【話し方】 A(4): プレゼン全体の話し方がスムーズである。 B(2): プレゼン全体の話し方が一部スムーズである。 C(1): プレゼン全体の話し方が滞った。	/4
【姿勢】 A(3): 常に聴衆を向いており、堂々としている。 B(2): 聴衆を向くときもある。 C(1): 台本を見て、下を向いている	/3
【声の大きさ】 A(3): 教室の後ろの人もしっかり聞き取れる大きさ B(2): 教室の中央の人が聞き取れる大きさ C(1): 教室の前の人が聞き取れる大きさ	/3
合計	/10

プレゼンカの基礎「伝え方」
これを審査していきます。

プレゼン大会の本選へ出場するためにも大切な得点です。

ii) 1/7(木) in 教室
プレゼン大会予選



学年の上位 10 班

1/28(木) in 大体育館
プレゼン大会本選

プレゼン大会本選に進出するためには、



学年の上位
10 班

64 班中 10 班です。狭き門をくぐり抜けて、大体で発表ができるのはどこの班でしょうか？

⚠ 審査項目を一部変更 ⚠

2nd JUDGE

審査項目	得点
①[プレゼンの伝え方] 班員と協働し、プレゼン全体がとてもスムーズである。	/10
②[プレゼンの資料] プレゼンが工夫されており、創造性に溢れている。	/10
③[根拠] 主張の根拠が具体的であり、裏付けされている。	/10
④[多角的視点] 主張を多角的に捉え、相手に納得感を抱いてもらえる内容である。	/10
⑤[賛同] 主張に賛同し、世の中に主張を実現する必要が是非あると思う。	/10
+ 発表時間 発表時間が 3 分 30 秒から 4 分 30 秒である。 ⇒減点なし。 発表時間が 3 分 30 秒より短い。または 4 分 30 秒より長い。 ⇒評価人数×6減点	

社会人サポーターインタビューを乗り越えた皆さんは、1 段と大人になり、チームワークも深まっています。最後の Mission です。みんなで協力して乗り越えましょう！！